

【事務局より】
 疫学の公表文献1報がリスク管理機関から提出されました。
 また、リスク管理機関に要求するとの御意見をいただいていた1報が追加提出されました。

なお、1.文献情報の「No.」～「備考」、2.研究結果詳細の「No.」～「備考（他の文献との関連等）」は、リスク管理機関から提出された資料のままの記載としています。ただし、記載不備と考えられた項目については赤字で修正しています。

文献No.1は、摂取した製剤の濃度及び量が報告されている症例報告であり、「評価に使用する可能性のある文献」に分類する案とし、評価書案の[II.14.(1)]に記載しています。
 文献No.2とともに、研究結果の分類（「評価に使用する可能性のある文献」/「評価に使用しない文献」）及び判断理由について御検討ください。

文献No.2について、「評価に使用する可能性のある文献」と考えられる場合は、評価書の記載案（机士配布資料2）も併せて御確認ください。

事務局修正

1.文献情報

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著/レビュー	海外評価書での引用の有無	ドシエでの引用の有無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1	Pretilachlor poisoning: A rare case of a herbicide masquerading as organophosphate toxicity	CLINICAL CASE REPORTS (2020), 8(12), pp.3506-3508	2020	Shilpakar, O; Karki, B; Rajbhandari, B	Department of General Practice and Emergency Medicine, NAMS, Bir Hospital, Kathmandu, Nepal	http://dx.doi.org/10.1002/ccr3.3473	原著	-	-	-	評価に使用する可能性のある文献		症例報告
2	The effect of follicular fluid pesticides and polychlorinated biphenyls concentrations on intracytoplasmic sperm injection (ICSI) embryological and clinical outcome	European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 220: 39-43	2018	Tarek K. AL-Hussaini ^a , Ahmed A. Abdelaleem ^a , Ihab Elnashar ^a , Omar M. Shabaan ^a , Rashad Mostafa ^c , Mona A.H. El-Baz ^b , Sahar E.M. El-Deek ^b , Tarek A. Farghaly ^a	a Women's Health Hospital, Assiut University, Egypt b Biochemistry department, Assiut University, Egypt c Andrology Departments, Suez Canal University, Seuz, Egypt	https://doi.org/10.1016/j.ejogrb.2017.11.003	原著	-	-	-	評価に使用する可能性のある文献 井上専門参考人追記	エジプトにおける単一施設の不妊治療対象者のみの重回帰分析にてそれぞれの不妊指標とプレチラロールマーカとの相関を見ている。対照群がないため、オッズ比による結果の提示はないが、評価に使用しない理由にはならないため、文献として提示してよいと考える。ただし、エビデンスレベルとしては弱い。 井上専門参考人追記	横断研究

2.研究結果詳細

No.	著者名	研究デザイン								健康関連の事象の情報							事象 (疾病等)		
		国名 (地域名、 研究名)	試験設計	調査時期	対象者、年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	ばく露指標の定義	ばく露の確認方法	試験全体のN数(症例/対照)	アウトカムのN数 (症例)	分析カテゴリー	ばく露に係るN数(症例/対照)	相対リスク/オッズ比等	95%信頼区間	p値		交絡因子の考慮	備考 (他の文献との関連等)
1	Shilpakar, O; Karki, B; Rajbhandari, B	Nepal	症例報告	記載なし	42歳男性1名	症状 バイタルサインの測定, 血液生化学検査等	著者の属する病院の救急部による診断	自殺目的による服用	聞き取り調査	1	1	50%プレチラクロール製剤を250mL服用した患者のアウトカム (症例報告のため非暴露者の設定なし)	-	-	-	-	除草剤プレチラクロールを自殺的に服用した事故の症例報告。アトロピンの静脈内投与により回復した事例だが、1例であり、詳細な検査結果が記載されていないため、区分cとした。	症例報告	
2	Tarek K. AL-Hussainia, Ahmed A. Abdelaleema, Ihab Elnashara, Omar M. Shabaana, Rashad Mostafac, Mona A.H. El-Bazb, Sahar E.M. El-Deekb, Tarek A. Farghalya	エジプト	横断的研究	2010.4~2013.7	不妊治療センターを受診した 20 ~ 38 歳の女性 (不妊カテゴリー 300 組)	卵巣反応、子宮内膜の厚さ、胚発生関連データ、妊娠率		卵胞液中の濃度	ガスクロマトグラフィー/質量分析	94	-	多重回帰分析相関	94	ベータ値 子宮内膜の厚さ 0.19、 卵母細胞数0.294 受精率0.216、 初期胚分割率0.262	-	子宮内膜の厚さ 0.000 卵母細胞数0.000 受精率0.000 初期胚分割率0.000	他の農業や化学物質の使用	不妊治療対象者のデータであり、対照群がない。分析情報不十分。妊娠率への影響は不明の結論。記述には負の関連となっているが、表の結果からは正の相関であり、表の値と結果の記述に矛盾点がある。 井上専門参考人修正	横断研究